

## 宇宙船・はやぶさ物語(その1)

大きな成果と勇気を与えた宇宙船・はやぶさ。今も「はやぶさ2」は、昨年12月に小惑星リュウグウのサンプルを地球に届け、新たなミッションで飛行を続けています。今後、2回で分けて夢と冒険の旅の物語をお届けします。

小惑星探査機・「はやぶさ」の名前は、小惑星のサンプル採取方法が鳥の「ハヤブサ」が獲物を捕る動きに似ているとして命名されました。

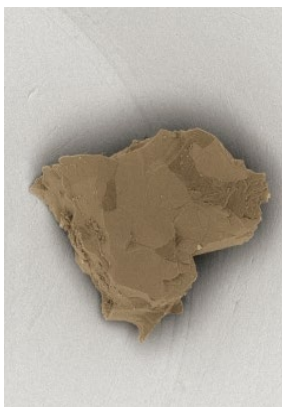
2004年5月鹿児島県内之浦から打ち上げられ、太陽を周回する軌道に投入され、その後地球の引力を用いて、燃料を消費せずに探査機を加速・減速し速度や軌道を変える技術を利用して目的地をめざしました。



▲探査機のイメージ(C) 宇宙航空研究開発機構 ▲はやぶさ

めざした小惑星イトカワ（日本の宇宙開発の父、故糸川英夫博士にちなんで命名された）は、地球から約3億kmの先、月よりも遙か遠くにあるしかも直径わずか540mの小惑星です。ここでのサンプルを分析することで、太陽系の謎を解くための重要な手掛かりが得られると期待されていました。

はやぶさは2005年9月から5か月間イトカワ付近に滞在し、カメラやレーダーなどによる科学観測を実施しました。この惑星は小さすぎて地表に着地ができないため、地表面に金属球を打ち込んで、飛び散った岩や砂を一瞬で採取しました。地球への帰還途中燃料漏れが発生し、姿勢を崩し行方が分からなくなってしまうという大ピンチに。通信チームは交信を続け、7週間目で突然はやぶさから電波が返ってきました。しかし、姿勢制御のエンジンが使用できず、やむを得ず、エンジン燃料のガスを直接噴射することで、徐々に姿勢制御を可能にし、2006年3月に奇跡的に復旧しました。1年間もの運用チームの努力で2007年4月に地球帰還の途につきました。



▲イトカワのサンプル(C)  
宇宙航空研究開発機構

2009年11月はエンジンが異常停止するなど予想以上の長旅で、ついにエンジンの寿命がつかきる事態も発生しましたが、運用チームは諦めず、4つあるエンジンのうち壊れていない機能を組み合わせて運転を再開し、満身創痍の状態ではやぶさは2010年6月13日に60億kmの旅を終えサンプルを積んで帰還しました。はやぶさは大気圏再突入の前に美しい地球の写真をチームに送り、サンプルカプセルを無事に地球に送り届けてミッションを終了し、機体は燃え尽きました。地球重力圏外にある天体の固定表面に着陸してのサンプルリターンに、世界初めて成功しました。

**9月の予定**（※8/23より当面の間、ふりーたいむは休止となっています。詳しくは各児童会館へお問合せください。）

月日	時間	行事名	場所	対象	申込有無・参加費	問合せ先
毎週 水・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	ひのまる児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	ひのまる児童会館 752-1551
毎週 火・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	栄西児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	栄西児童会館 752-8363
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	丘珠たから児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	丘珠たから児童会館 784-8095
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	栄西小はんのき児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	栄西小はんのき児童会館 768-8883

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となる場合がありますので、事前にご確認ください。

**【シリーズ 部活紹介】 栄町中学校 ソフトテニス部**

僕達ソフトテニス部は、3年生9人、2年生2人、1年生8人の男子で構成されています。学年の枠を超えてとにかく仲が良く、とても雰囲気の良いチームです。特に1年生は、練習の準備や後片付けを率先して行ってくれます。練習ではレシーブのコースを大切にするなど、次のボール展開を考えた練習メニューにしています。3年生の中には全市形態のインドア大会でベスト8になったペアもいますが、現在は1年間で1番大きな大会である中体連大会のまっただ中。東区北部の4校で全市大会出場を競っており、これが発行される時にはどうなっているか分かりませんが、「目指せ！全市ベスト8」を合い言葉に練習に励んでいます。

